



ALUMNI

- アラムナイ -

都立墨田工科高校
学友会(同窓会)
略称「学友会」
事務局 発行

東京都立墨田工科高等学校 学友会(同窓会)

〒135-0004 東京都江東区森下 5-1-7

TEL 03-3631-4928 FAX 03-3846-6683

『墨田工科』3年目を迎える

気鋭の三好校長を迎える！！

平成7年度の定期異動にて心身気鋭の三好康弘校長先生をお迎えしました。

三好校長は、定時制に大変理解があり嬉しい限りです。

併せて、定時制に佐々木雅人副校長をお迎えしました。

学友会のご支援どうぞよろしくお願い致します

◆着任のご挨拶を兼ねて校長室での記念撮影：背面のポスター等とてもアットホームな校長室です



※中央が第28代三好新校長、右が黒河学友会会长、左は東京都教育委員会指導主事の各氏

◆壁の歴代校長写真：右から左へ順に墨工第15代小熊校長、第16代藤村校長（学友会初代名誉会長）、第17代稻見校長（学友会2代名誉会長）、第18代原田校長（学友会第3代名誉会長）、第19代佐藤栄校長、第20代野上明夫校長、第21代松本光正校長、第22代加藤秀次校長、第23代小林昌代校長、第24代三神幸男校長、第25代杉浦文俊校長、第26代古藤一弘校長、第27代（学友会第12代名誉会長）嶋村校長の皆様です。 ** 学友会会員の皆様、懐かしい学生時代を思い出しませんか **



新春のご挨拶

東京都立墨田工科高等学校学友会(同窓会)

会長 黒河志光

(昭和40年機械科1組卒)

会員の皆様、平素は学友会活動にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

混乱と弱肉強食の世界情勢が一向に改まる様子も無く新しい年が始まりました。

ロシアのウクライナ侵略も5年になるわけで、ウクライナの人々の心痛は計り知れないものが有ると思います。

我が国も、いつウクライナと同じ様に侵略されるかも知れないと身近に感じる嫌な情勢になりつつあると思います。

このような状況をどうしたら回避できるのか、戦争をしない為には服従する道しか残されていないような気がします。民主主義の超大国だったアメリカがディールでしか判断しない国になってしまった事で一気に世界の秩序が崩れてしまったと感じます。

さて、学友会も老齢化して久しい訳で、若返りを“是非の課題”として取り組んでまいりましたが、この度それが実現出来る運びとなりました。

今年中には若返った新しい執行部になりますので、その元で学友会が継続発展していくものと確信しております。

今後増えAIが発展してまいりますが、その時最初に削減されるのはホワイトカラーの人たちだと思います。AIでは機械を作り、建物、橋を作ることは出来ません。

近い将来、工業高校を卒業し、現場に根差した仕事をしている人が必ず重要視されてくると私は思います。

工業高校の再興を願ってやみません。『工業立国われらの理想』

今後とも学友会の発展を祈念し、挨拶とさせて頂きます。

令和8年新春



玄関の来校者を迎える展示



アラムナイに寄せて

東京都立墨田工科高等学校
第28代校長 三好 康弘

浅春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校の教育活動並びに定時制の運営に多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。特に、黒河会長様をはじめとする役員の皆様には、日頃から同窓会活動を通じて、在校生への支援や同窓生同士の連携強化にご尽力いただいておりますこと、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

皆様の温かいご支援は、本校の教育振興にとってかけがえのない力となっております。

現在の工科（工業）高校が直面する課題として応募倍率の低下が挙げられます。その背景には、少子化に加え高校授業料無償化に伴う私学希望者の増加、学びの多様化による通信教育やチャレンジスクール、エンカレッジスクールへの需要増が要因していると考えています。また、AIやIoTといった先端技術の急速な進展に伴うDX教育の推進、そして社会のグローバル化に伴い、工業教育もまた大きな変革の時代を迎えています。それに呼応し様々な工科高校において、進学指導に方向転換した学校も増えてきております。その中で、創立125年の伝統ある本校は『自治・勤労・敬愛』の校訓のもと、伝統と革新を繰り返し地域産業から大手企業を実践的技術により支える技術者の育成を目指し現在に至っております。

現在、本校では、先に述べた時代の変化に対応するため、従来の専門知識・技術の習得に加え、『自ら課題を発見し、解決する力』や『多様な人々と協働する力』の育成に重点を置いています。具体的には、始業前に『振り返り学習』を実施し、基礎学力向上や資格取得に向けたきめ細やかな指導などを推進しております。生徒たちは『ものづくり』への情熱を胸に、日々真剣に学び、技術・技能の向上に励んでおります。その結果、卒業生の就職率は非常に高く、産業界からも高い評価をいただいております。これもひとえに、長年にわたり本校の礎を築いてこられた諸先輩方のご尽力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今後も『地域から期待され、地域に貢献できる工科（工業）高校』の確立を目指し、教職員一同、教育活動に邁進してまいります。

つきましては、学友会の皆様におかれましても、引き続き本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。特に、企業等でご活躍中の卒業生の皆様には、インターンシップの受け入れや、専門分野でのご指導など、未来を担う後輩たちへの温かいご支援・ご指導をお願いしたく存じます。皆様と学校が連携を深めることで、より一層、生徒たちの成長を後押しできると確信しております。

私事ではございますが、日々の多忙な業務の合間には、バイクツーリングで心身のリフレッシュを図っております。管理職になる以前は、スキー、マリンスポーツなども行っておりましたが、日々の仕事の他、幼い子供がいることから休日は育児に追われており、いつかまたできることを願いながら毎日を過ごしております。そのような中でも自身への『気づき』を与えてくれており、この『気づき』を大切に、生徒たちとの対話や学校づくりに活かしていきたいと考えております。

結びに、学友会の益々の発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます。今後とも、本校教育への変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年1月8日

【学友会活動報告】

学友会 本年10月に設立30年を迎える

運営体制の世代交代に着手！！

第30期理事会が令和7年8月19日に開催されましたが、前期同様出席者がわずか6名という寂しい結果になってしまいました。理事会では設立以来の現役員は高齢化してしまい、会員のニーズに応えることが出来ていないのではないか、との反省のもと、“心機一転”阿部理事を中心とする新体制の確立に取り組むことを決定しました。

第31期評議員会は令和7年10月16日に開催されましたが、残念ながら出席者は理事4名でした。

今期は、新体制への移行期間とし、現役員は無条件で全面的に協力することを確認しました。

会員の皆様も新体制への移行と発展のご支援を是非お願いします。

評議員会の概要は学校の公式ホームページにも掲載されておりますので是非ご確認ください。

【運営体制】

◆役員の勇退

平野監事(S31E)から高齢のため勇退するとの届け出がありました。また、斎藤守(S36M)、鍬形智明(H20G)評議員から辞退の届け出があり、10月16日の評議員会にて承認されました。

長い間、ご活躍いただき有難うございました。

◆新役員の就任

R7年12月、阿部理事から新理事に H4E 辻秀樹評議員、新評議員に R1 青海真之氏の推薦がありました。本人の確認を得て事後処理ですが、後日書面にて評議員会の承認を得ることとしました。

31期当初の運営体制は以下の通りです。

学友会 第31期(2025.9.1~2026.8.31)運営体制

敬称略

会長	黒河 志光(S40M1)	第13代名誉会長	三好 康弘
副会長・会計	町谷 芳郎(S34M1)	同 名誉会長代理	佐々木 雅人
幹事長・事務局	根本 康雄(S36M1)		
会計	石塚 敬一(S42M1)	会計監事	佐藤 忠(S36M2)

* 運営理事(R7.10.16 現在、連絡先不明者を除く)

松居 邦彦(S36M2)	林田 元宏(S36A)	渋谷 朋衛(S37E)	川野 一夫(S38E)
伊藤 燐(S40M1)	平田 実(S42M1)	石塚 敬一(S42M1)	戸田 明(S52A)
田中 洋(S55A)	田代 克美(H1M1)	横山 良太(H1E)	渡辺 正敏(H1E)
栗原 俊昌(H5A)	片山 勇(H19 総合)	阿部 里志(H25 総合)	

* 評議員 111名(機械(M)32名、電気(E)12名、建築(A)28名、総合39名)

【第30～31期 活動報告】

令和7年1月～令和8年1月中旬までの活動概要は以下の通りです。

1. 会議の開催

* 第30期 理事会：令和7年8月19日 出席者6名

* 第31期 評議員会：令和7年10月16日 出席者4名(次期に新体制発足を提案)

2. 卒業生全員…学友会に入会！！

* 令和6年度 卒業生 6名 入会者に記念品としてドリンクボトルを贈りました。

3. 広報誌「ALUMNI」41号を発行しました

令和7年2月、アラムナイ第41号を教職員・在校生、学友会評議員、特別会員(旧教職員)の一部の皆様にお送りしました。全ての会員に送付したいのですが予算その他の事情で配布が難しい状況です。

なお、母校のご支援をいただき第38号から母校の公式ホームページに全文を掲載させていただいておりますので是非ご覧ください。(ホームページは東京都立墨田工科高校定時制と入力すれば閲覧できます)

4. 母校の支援

令和7年12月13日、中学生の「母校体験入学会」が行われました。その際、機器などの取り扱いによる事故があつては困るとの配慮から学友会が障害保険の費用(2,000円)を負担することになりました。
わずかですが母校のお役に立つことができて嬉しい限りです。

5. 墨工同窓会との連携

数年にわたり区道3140号に道路愛称を命名する活動を続けてきましたが令和6年1月、不採択が決定し、それ以来活動は停滞しております。今後も情報交換等連携を続けてまいります。

【学友会第30期 決算報告】

【1】 収入

単位:円

事項	30期予算額	30期決算額	説明
前年度繰越金	1,092,750	1,092,750	前年比△86,060
入会金	0	30,000	入会者 6名 @5,000円
その他	10	20,599	会員協賛金2名、利子
収入合計	1,092,760	1,143,349	決算額前年度△84,507円

【2】 支出

事項	30期予算額	30期決算額	説明
活動費	50,000	22,268	アラムナイ発行等を含む
通信費等	50,000	43,881	広報費を含む
会議費等	35,000	38,597	事務費等を含む
その他	20,000	0	
支出合計	155,000	104,746	前年度比△30,360円
次年度繰越金	937,760	1,038,603	前年度比△54,147円
総合計	1,092,760	1,143,349	

【学友会第31期 活動計画】

第31期(令和7年9月～令和8年8月)の活動は学友会設立記念事業(アラムナイ発行済全号の集大成版の編集)及び新運営体制へのスムースな移行への取組に注力することとします。

◆学友会第31期 予算計画

【1】 収入

事項	予算額	説明
前年度繰越金	1,038,603	
入会金	0	
学友会協賛金	0	
その他	100	利子等
収入合計	1,038,703	

* 次年度繰越金 598,703円

【2】 支出

事項	予算額	説明
活動費	300,000	*1
通信費等	50,000	広報費含む
会議費等	60,000	
その他	30,000	渉外費等
支出合計	440,000	

*1:設立30年記念「アラムナイ」集成版作成費を含む

【母校だより】

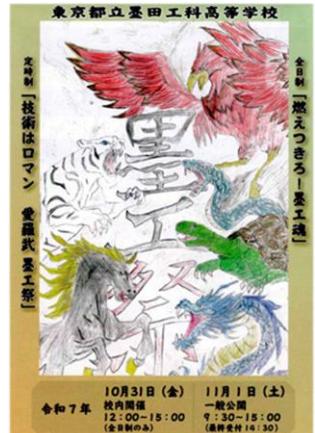
◆三好康弘校長・佐々木雅人副校長をお迎えしました(1面参照)

◆生徒・教職員の状況は以下の通りです(令和7年12月現在)

学年	生徒数	主担任	教職員の構成 (敬称略)
1学年	10名(女子0名)	渡邊先生	*校長 三好康弘 *副校長 佐々木雅人
2学年	8名(女子0名)	太田先生	*教諭: *電気3名、機械、建築大工・自動車各2名
3学年	5名(女子2名)	廣岡先生	*国語・数学・英語・公民・保健体育・養護・理科各1名
4学年	4名(女子0名)	村中先生	計16名 *非常勤講師4名 *機械、建築・大工実習助手各1名 *経営企画室 室長・職員他 計11名
総数	27名(女子2名)		

◆母校行事

- ・令和6年度 卒業式 令和7年3月1日 卒業生 6名
- ・令和7年度 入学式 令和7年4月8日 新入生 10名
- ・**令和7年度 墨工祭 令和7年11月1日**
- ・令和7年度 卒業式 令和7年3月7日(予定) 卒業生 4名(予定)
- ・令和8年度 入学式 令和8年4月8日(予定)



◆伝統の墨工祭 好天に恵まれお客様で賑わう！

11月1日、墨工祭が全日制・定時制合同で行われ大変盛況でした。学友会からは、黒河会長、町谷副会長、佐藤監事、根本幹事長らが出席しました。



◆学校運営協議会の開催

・学校運営協議会は例年の通り開催され学校運営についての活発な議論が行われました。

- ① 令和6年度第3回 令和7年3月18日開催 学友会会长、幹事長出席
- ② 令和7年度第1回 令和7年6月27日開催 幹事長出席
- ③ 令和7年度第2回 令和7年11月28日開催 幹事長出席

・委員の構成

保護者代表、地元町会長、深川第7中校長、深川消防署森下出張所長、深川警察署スクールセンターの皆様及び学友会会长、幹事長

◆教職員の異動

(敬称略)

転出(令和7年3月31日付け)	転入(令和8年4月1日付け)
・副校長 山本 将英(六郷工科 定時制)	・校 長 三好 康弘(総合工科高校昇任)
・建 築 高橋 康代(中野工科 定時制)	・副校長 佐々木雅人(工芸高校 定時制)
・養 護 長嶋 美波(育休)	・国 語 山本 沙織(小山台高校定時制)
*退 職 校 長 嶋村 晃	・電 気 佐藤 敬崇(科学技術高校)
*退 職 国 語 口石 祥二	・建 築 米原 良慈(田無工科高校)
*退 職 電 気 三村 明	・養 護 秋月 泉紀

☆退職された 嶋村校長先生、口石先生、三村先生

学友会が大変お世話になりました。

今後の益々のご活躍、ご多幸をお祈りします。

☆転出された皆様、大変お世話になりました。新しい環境での
ご活躍をお祈りします。有難うございました。

☆転入された皆様、学友会のご支援をよろしくお願ひいたします。



職員室廊下の掲示板

【記録に残る学友会活動】

◆学友会の設立(1996.10.14)

設立趣意書

東京都立墨田工業高等学校定時制は、本年「夜学校開校」95年にあたります。開校されたのはちょうど「ノーベル賞」が発足した翌年の明治34年(1901)のことです。95年の間には、多くの出来事がありました。特に戦後の荒廃期には、おそらく毎日生活するに苦労して勉学でできるような状況ではなく、教室は電灯もつかず、教科書もない時期に「墨工」の伝統を築いていただったので。以後、その「志」を受け継いだ卒業生約4000名が各分野にて貢献し、今まで「墨工」の伝統を受け継いでいます。

現在は1・2年生の総合技術科2クラス、82名、3・4年生の工業3科(機械・電気・建築)の60名、合計142名が在籍しています。

墨工「同窓会」は、開校以来、全日制・定時制合同で運営していましたが、青木運之助会長以後は同窓会も停滯し、絶会も開催されず、活動を再会すると定時制は参加できない状況になり、特に85周年行事を通してそれがより確実になってきました。そこで、そのような状況を放置することとは定時制が墨田の同窓会活動の本懸念をなくすだけでなく、同時に強からご支援いただいている多くの方々の信頼を失うことになります。

85周年当時に地名整理や地域の再開発で多くの工場が移転し、卒業生の多くも住所が判らなくなってしましました。一方、時代は若学生徒の激減期にあたり定時制の統合や廃校が進みました。幸い、墨田工業定時制はサバイバルしました。しかし、資金もなく、なかなか独自の同窓会を設立しにくい環境に置かれておりました。にもかかわらず、墨工「同窓会」設立の先駆が次第に高まり熱心な方々の努力とご協力により「準備会」を重ね、ここに「墨田工業高等学校学友会(同窓会)」を発足する準備がととのいました。

墨田工業高校に学んだということは一生乗り越せるものではありません。その意味でも墨工に学んだ「学識」を大切にして、一緒に活動を始めますようお願い申しあげます。
この会を榮ある本校の伝統として発展・継続することを期して学友会(同窓会)を設立したいと考えます。

平成8年(1996)8月24日

◆墨工創立100年記念



2000.10.28 九段会館にて式典

祝賀会(Hグランドパレスにて) 学友会 71名参加

◆第5回学友会総会(2016.10.29)



ご臨席の大村先生へ記念品の贈呈

◆大村博士ノーベル賞受賞記念碑建立除幕式



2026.12.15 母校に設置された記念碑

【会員情報】

※訃報 評議員 鈴木光男様(S35E)

長い間、ご活躍いただき有難うございました。ご冥福をお祈りいたします。

◆学友会(同窓会)の足跡

平成 02 年 07 月 14 日	設立準備会発足(事務局:昭和 36 年定時制機械科卒 事務局 山口明男先生)
平成 08 年 10 月 13 日	学友会設立総会: 森下文化センターにて 出席者 153 名 初代会長倉前栄一氏を選出
平成 12 年(2000)年 10 月 28 日	学校創立 100 周年記念行事 ※記念式典:九段会館 記念祝賀会:ホテルグランドパレスにて開催 ※創立百年小史の発行 会員名簿の発行(学友会編纂)
平成 13 年 10 月 21 日	第 2 回総会開催 錦糸町ロッテ会館にて 参加者 46 名 会長倉前栄一氏再任
平成 15 年 10 月 21 日	昭和 20 年、21 年卒業生への卒業証書授与を支援 授与式挙行 12 名に授与
平成 18 年 10 月 22 日	第 3 回総会開催 第 2 代会長に黒河志光(40M1 卒)氏を選出 参加者 39 名
平成 22 年 10 月 23 日	学校創立 110 周年記念行事挙行 ティアラ江東 学友会参加者 33 名
平成 23 年 10 月 23 日	第4回総会開催 黒河志光再任 参加者 26 名
平成 27 年 10 月 6 日	元母校教諭大村智北里大学教授 ノーベル賞医学・生理学賞受賞
平成 28 年(2016)年 10 月 29 日	第5回総会開催 (葛西臨海公園ホテルシーサイド江戸川) 黒河会長再任 参加者 54 名 ノーベル賞受賞者 元母校教諭大村智博士 懇親会 来席
平成 28 年 12 月 15 日	大村博士ノーベル賞受賞顕彰記念碑 を母校に建立。除幕式挙行 来賓多数参列
令和 3 年 9 月	コロナ禍のため第 6 回総会を中止決定
令和 5 年 4 月 4 日	墨田工科高校に校名変更 、第 1 回入学式挙行(参列)
令和 4 年 4 月 22 日	学友会広報誌「アラムナイ」第 38 号学校公式ホームページに初めて掲載される
令和 5 年 10 月 20 日	第 29 期評議員会開催 「学友会会則」の変更(名称・学友会総会の不定期開催など)
令和 6 年 3 月 2 日	墨田工科高校第 1 回卒業式参列 卒業生 10 名 学友会入会者 0 名
令和 7 年 3 月 1 日	墨田工科高校第 2 回卒業式参列 卒業生 6 名 学友会入会者 全員
令和 7 年 10 月 16 日	第 31 期評議員会開催 出席者 4 名

《学友会支援のお礼とお願い》

※令和 7 年 2 月 下記の方から多大な支援金を頂戴しました。

* 10,000 円 S35M2 霜田貞夫様 * 10,000 円 S42M1 平田実様

有難うございました。大切に使用させていただきます。

※学友会運営資金をご援助いただける場合は下記に振り込みをお願い致します。

郵便振替 東京都立墨田工業高等学校学友会(同窓会) 番号 00130-4-779048
(旧校名となっておりますのでご留意ください)

【編集後記】

第 42 号を皆様にお届けすることが出来て感無量です。相も変わらず稚拙な内容ではありますが、会員の皆様や関係する方々が母校の様子や学友会活動に少しでも触れていただければ幸いです。

事務局の初代は母校教諭をされていたクラスメートの山口明男先生(S36M 卒)、2 人目はやはり母校卒の河西先生(S38M)でしたが、河西先生が体調を崩したため小生が事務局を兼ねることになりました。

十分な対応もできず会員の皆様にはご迷惑をおかけしてしまいましたが幸い次期から新進気鋭の阿部理事を中心に新体制での運営が始まりますのでご期待ください。

(事務局 根本)